

平成 22年 3月期 第1四半期決算短信



平成21年8月5日

上場会社名 株式会社 ヨロズ

上場取引所 東証一部

コード番号 7294

URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐藤和己

TEL (045)543-6802

問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務部長 (氏名)佐草 彰

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	15,540	△46.2	△0	—	57	△97.8	△850	—
21年3月期第1四半期	28,887	0.6	2,241	74.7	2,570	89.0	1,445	51.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第1四半期	△50	02	—	—
21年3月期第1四半期	85	02	70	04

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年3月期第1四半期	65,821		36,545		46.5	1,799	27	
21年3月期	64,608		35,306		45.4	1,725	05	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 30,596百万円 21年3月期 29,334百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年3月期	—		8	00	—		8	00	16	00
22年3月期	—		—		—		—		—	
22年3月期(予想)	—		—		—		—		—	

(注) 1. 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

2. 平成22年3月期(予想)配当は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	33,200	△45.3	310	△93.6	300	△94.2	△1,030	—	△60	57
通期	76,000	△32.5	650	△89.8	600	△92.0	△1,000	—	△58	81

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 有
- 〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- | | | | |
|-------------|-------------|--------|-------------|
| 22年3月期第1四半期 | 21,455,636株 | 21年3月期 | 21,455,636株 |
|-------------|-------------|--------|-------------|
- ② 期末自己株式数
- | | | | |
|-------------|------------|--------|------------|
| 22年3月期第1四半期 | 4,450,780株 | 21年3月期 | 4,450,780株 |
|-------------|------------|--------|------------|
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 22年3月期第1四半期 | 17,004,856株 | 21年3月期第1四半期 | 17,005,078株 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。〕

2. 配当金につきましては、業績及び配当政策等を勘案して考えております。しかしながら、依然として厳しい環境が続くものと予想され、現時点では未定とし、配当予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示を行う予定であります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、昨年の金融不安が実体経済に波及したことから、世界規模での消費縮小など世界同時不況に至っております。

こうした中、日本における企業業績は、製造業を中心に、昨年後半の急速な悪化以降、引き続き低水準で推移しました。

自動車業界におきましては、国内では環境対応車等の一部の車種で回復の兆しが見えておりますが、全体的な新車販売は低水準で推移し、経営環境は厳しいものとなりました。海外におきましても、当社の主要得意先であります日系メーカーの現地生産及び販売は、中国を除き低水準で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループの第1四半期累計期間の売上は、前年同期と比べ46.2%減の15,540百万円となりました。

利益面では、「最大の効率と徹底したミニマムコスト」をポリシーとし、全社を挙げての緊急合理化対策を実施した結果、営業損益では、ほぼブレイクイーブン（営業損失610千円）となり、経常利益は、57百万円の黒字となりました。しかし、減損損失566百万円の計上等により四半期純損失は850百万円となりました。

なお、当第1四半期累計期間の為替換算レートは、93.77円/ドル（前第1四半期累計期間は、105.27円/ドル）であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

流動資産は、前連結会計年度末と比べ376百万円増加の30,086百万円となりました。

これは、主に「現金及び預金」が914百万円増加、「製品」等のたな卸資産が929百万円増加したものの、「受取手形及び売掛金」が1,446百万円減少したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ837百万円増加の35,735百万円となりました。これは、主として「有形固定資産」が減損損失及び減価償却などにより202百万円減少したものの、「投資その他の資産」が1,044百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ1,213百万円増加の65,821百万円となりました。

（負債の部）

流動負債は、前連結会計年度末と比べて1,572百万円減少の16,735百万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が2,315百万円減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ1,547百万円増加の12,540百万円となりました。これは、「長期借入金」が1,112百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ25百万円減少の29,275百万円となりました。

（純資産の部）

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,238百万円増加の36,545百万円となりました。これは、「利益剰余金」が1,182百万円減少したものの、「その他有価証券評価差額金」及び「為替換算調整勘定」が2,444百万円増加したことなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、現在の世界同時不況の中、米国自動車メーカーの連邦破産法の申請など、自動車業界にも多大な影響を及ぼしており、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような状況下におきまして当社グループは米国における得意先生産体制の変更に伴い、最大の効率化と最適生産体制のためにヨロズオートモーティブノースアメリカ社（YANA）の操業を一時休止し、全ての生産をヨロズオートモーティブテネシー社（YAT）へ集約することを決定いたしました。

平成22年3月期の業績予想につきましては、当該生産体制の変更を含め最近の事業環境を踏まえ、平成21年7月14日に修正しております。詳細につきましては、平成21年7月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便な会計処理

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成21年5月12日開催の取締役会において、役員退職慰労金制度の廃止を決議するとともに、平成21年6月16日開催の第64回定時株主総会において、在任期間に応じた退職慰労金を打ち切り支給することを決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金残高を取崩し、第1四半期連結会計期間末において、未支給の金額を固定負債の「その他」に計上しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,836	7,921
受取手形及び売掛金	9,817	11,264
製品	2,026	1,685
原材料及び貯蔵品	2,293	2,221
部分品	423	399
仕掛品	3,002	2,510
その他	3,723	3,726
貸倒引当金	△37	△19
流動資産合計	30,086	29,710
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	15,578	15,805
その他（純額）	13,839	13,815
有形固定資産合計	29,417	29,620
無形固定資産		
その他	89	93
無形固定資産合計	89	93
投資その他の資産	6,228	5,184
固定資産合計	35,735	34,897
資産合計	65,821	64,608
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,619	11,934
短期借入金	2,002	1,669
未払法人税等	218	406
賞与引当金	1,109	703
役員賞与引当金	43	34
その他	3,742	3,560
流動負債合計	16,735	18,308
固定負債		
新株予約権付社債	4,305	4,305
長期借入金	4,863	3,750
退職給付引当金	938	983
役員退職慰労引当金	—	207
その他	2,433	1,745
固定負債合計	12,540	10,992
負債合計	29,275	29,301

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,472	3,472
資本剰余金	5,435	5,435
利益剰余金	34,870	36,052
自己株式	△3,881	△3,881
株主資本合計	39,897	41,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	911	161
為替換算調整勘定	△10,212	△11,907
評価・換算差額等合計	△9,301	△11,745
少数株主持分	5,949	5,972
純資産合計	36,545	35,306
負債純資産合計	65,821	64,608

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	28,887	15,540
売上原価	24,294	13,854
売上総利益	4,593	1,685
販売費及び一般管理費	2,351	1,686
営業利益	2,241	△0
営業外収益		
受取利息	61	16
受取配当金	81	35
為替差益	501	9
デリバティブ評価益	—	22
その他	28	33
営業外収益合計	672	116
営業外費用		
支払利息	130	57
デリバティブ評価損	206	—
その他	7	2
営業外費用合計	344	59
経常利益	2,570	57
特別利益		
固定資産売却益	71	0
保険解約戻金	—	4
その他	—	0
特別利益合計	71	4
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産廃棄損	2	—
減損損失	175	566
その他	11	—
特別損失合計	192	567
税金等調整前四半期純利益	2,450	△505
法人税等	723	238
少数株主利益	280	106
四半期純利益	1,445	△850

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません

(4) セグメント情報

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,360	12,878	5,649	28,887	—	28,887
(2) セグメント間の内部 売上高	910	100	43	1,055	(1,055)	—
計	11,271	12,979	5,692	29,942	(1,055)	28,887
営業利益	613	505	1,072	2,191	50	2,241

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国

(1) 北米…アメリカ・メキシコ

(2) アジア…タイ・中国

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,473	5,365	3,702	15,540	—	15,540
(2) セグメント間の内部 売上高	1,010	97	19	1,128	(1,128)	—
計	7,484	5,462	3,721	16,668	(1,128)	15,540
営業利益または 営業損失 (△)	87	△345	148	△109	109	△0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国

(1) 北米…アメリカ・メキシコ

(2) アジア…タイ・中国

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません